※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０５

令和５年度　学ビジネス科

教科	学ビジネス	科目	（学）電卓技能演習	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	独自教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・電卓技能検定の問題を題材にし、電卓技能の習得をめざします。
この授業では、電卓技能検定の問題を題材にし、授業を進めていきます。日々の授業で、繰り返し問題に取り組むことで、ビジネス社会で役立つ、正確に速く計算する電卓技能の習得をめざします。
・１回１回の授業を大切にしましょう。
日頃の授業での取り組む姿勢も評価の対象となります。日頃から休まずに、出席し、最後まであきらめずに、課題へ取り組んでください。

２　学習の到達目標

(1)日常的に使う四則演算以外の操作方法（%、GT、時間計算、メモリーなど）を身につけるとともに、四則演算についても、大量の計算を早く正確にできるようにする。
(2)割合の計算（利益の上乗せ、消費税計算、割引率）などの計算式が立てられるようになり、その計算を正しく電卓でできる力を養う。
(3)日常生活の様々な場面やビジネス社会で想定される場面での電卓の活用に関心をもち、問題解決のために意欲的に取り組もうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・日常的に使う四則演算以外の操作方法（%、GT、時間計算、メモリーなど）を身につけている。 ・四則演算について、大量の計算を速く正確にすることができる。	・割合の計算（利益の上乗せ、消費税計算、割引率）などの計算式が立てることができる。 ・割合の計算（利益の上乗せ、消費税計算、割引率）などの計算を電卓で正しくすることができる。	・日常生活の様々な場面やビジネス社会で想定される場面での電卓の活用に関心をもち、問題解決のために意欲的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期および後期	電卓の基礎知識	・電卓の基礎知識 ・運指法	a:電卓の基本的な知識・機能を理解している。 運指法を身につけている。 c:知識の習得に向けて意欲的に取り組もうとしている。	プリント		提出プリント
	電卓における計算	・加減算	a:電卓を使用し、基本的な加減算をすることができる。 大量の加減の計算を正確にすることができる。 c:技能の習得に向けて意欲的に取り組もうとしている。	プリント		提出プリント
		・見取算	a:電卓を使用し、見取算をすることができる。 大量の見取り算の計算を正確にすることができる。 c:技能の習得に向けて意欲的に取り組もうとしている。	プリント		提出プリント
		・乗算	a:電卓を使用し、乗算をすることができる。 大量の乗算の計算を正確にすることができる。 b:消費税計算、利益の上乗せの計算に関する計算式を立てることができる。 消費税計算、利益の上乗せの計算に関する計算を電卓で正しくすることができる。 c:技能の習得に向けて意欲的に取り組もうとしている。	プリント	プリント	提出プリント
		・除算	a:電卓を使用し、除算をすることができる。 大量の除算の計算を正確にすることができる。 b:割合に関する計算式を立てることができる。 割合に関する計算を電卓で正しくすることができる。 c:技能の習得に向けて意欲的に取り組もうとしている。	プリント	プリント	提出プリント
	電卓の機能の活用	・電卓の機能の活用	a:電卓の機能を活用し、四則演算以外の計算することができる。 b:電卓の技能を活用し、効率的に計算をすることができる。 c:技能の習得に向けて意欲的に取り組もうとしている。	プリント	プリント	提出プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度